

県南広域振興局長 様

提出者 奥州金ヶ崎行政事務組合
 住所 〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字仙人49
 氏名 管理者 倉 成 淳

（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

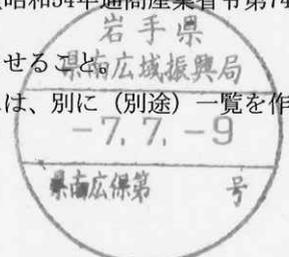
主たる工場又は事業場の名称	胆江地区衛生センター	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字仙人49番地	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	7,017 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	63 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
胆江地区衛生センター	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字仙人49番地	6,332 kl
胆江地区広域火葬場さくらぎ苑	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字東鍛冶屋44番地	217 kl
奥州金ヶ崎行政事務組合 消防本部	〒023-0854 奥州市水沢大鐘町二丁目16番地	169 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
	揮発油(ガソリン)		kL			kL						
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油	144.21	kL	5,264			kL	5,264	361	352	9	
	軽油	5.07	kL	193			kL	193	13	16	-3	
	A重油	66.50	kL	2,587			kL	2,587	183	89	94	
	B・C重油		kL				kL					
	石油アスファルト		t				t					
	石油コークス		t				t					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	5.43	t	272			t	272	16	19	-3
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭		t			t					
		輸入原料炭		t			t					
		吹込用原料炭		t			t					
		一般炭		t			t					
		輸入一般炭		t			t					
		輸入無煙炭		t			t					
	石炭コークス		t				t					
	コールタール		t				t					
	コークス炉ガス		千m ³				千m ³					
	高炉ガス		千m ³				千m ³					
	発電用高炉ガス		千m ³				千m ³					
転炉ガス		千m ³				千m ³						
その他の燃料	都市ガス	2.15	千m ³	97		千m ³	97	4	4	0		
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m ³			千m ³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)	7,767.00	t	227,573			GJ/t	227,573	21,445	18,364	3,081	
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t				GJ/t					
	廃油		kL				GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³				千m ³					
	混合廃材		t				t					
	水素		t				t					
	アンモニア		t				t					
その他燃料()												
小計①							235,985	22,023	18,844	3,179		
熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
	温水		GJ			GJ						
	冷水		GJ			GJ						
	地熱		GJ			GJ						
	温泉熱		GJ			GJ						
	太陽熱		GJ			GJ						
	雪氷熱		GJ			GJ						
小計②												
電気	電気事業者①	4,164.31	千kWh	35,980		千kWh	35,980	1,674	1,946	-272		
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
	その他		千kWh			千kWh						
小計③							35,980	1,674	1,946	-272		
合計 ④=①+②+③							271,965	23,697	20,790	2,907		

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1) のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	7,017	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	23,697	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		23,697	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区衛生センター】

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
	揮発油(ガソリン)		kL			kL					
	ナフサ		kL			kL					
	ジェット燃料		kL			kL					
	灯油		kL			kL					
	軽油	1.07	kL	41			kL	41	3	3	0
	A重油	38.00	kL	1,478			kL	1,478	105	55	50
	B・C重油		kL				kL				
	石油アスファルト		t				t				
	石油コークス		t				t				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0.13	t	7		t	7	0		0
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³				
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t				
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³				
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t				
			コークス用原料炭		t		t				
			吹込用原料炭		t		t				
		一般炭	輸入一般炭		t			t			
			国産一般炭		t			t			
	輸入無煙炭		t			t					
	石炭コークス		t			t					
	コールタール		t			t					
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³						
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³						
転炉ガス		千m ³			千m ³						
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³					
	()										
非化石燃料	黒液		t			t					
	木材		t			t					
	木質廃材		t			t					
	バイオエタノール		kL			kL					
	バイオディーゼル		kL			kL					
	バイオガス		千m ³			千m ³					
	その他バイオマス		t			t					
	RDF		t			GJ/t					
	RPF		t			GJ/t					
	廃タイヤ		t			GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)	7,767.00	t	227,573			GJ/t	227,573	21,445	18,364	3,081
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t				GJ/t				
	廃油		kL				GJ/kL				
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
	混合廃材		t			t					
	水素		t			t					
	アンモニア		t			t					
その他燃料()											
小計①							229,099	21,553	18,422	3,131	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
	温水		GJ			GJ					
	冷水		GJ			GJ					
	地熱		GJ			GJ					
	温泉熱		GJ			GJ					
	太陽熱		GJ			GJ					
	雪氷熱		GJ			GJ					
小計②											
電気	電気事業者①	1,890.98	千kWh	16,338		千kWh	16,338	760	868	-108	
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh				
		水力		千kWh			千kWh				
		風力		千kWh			千kWh				
その他		千kWh			千kWh						
小計③							16,338	760	868	-108	
合計④=①+②+③							245,437	22,313	19,290	3,023	

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	6,332	kL
--------------	-------	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	22,313	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		22,313	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区広域火葬場さくらぎ苑】

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
揮発油(ガソリン)		kL			kL						
ナフサ		kL			kL						
ジェット燃料		kL			kL						
灯油	138.00	kL	5,037		kL		5,037	345	340	5	
軽油	0.09	kL	3		kL		3	0		0	
A重油		kL			kL						
B・C重油		kL			kL						
石油アスファルト		t			t						
石油コークス		t			t						
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t		t						
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³						
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t						
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³						
石炭	原料炭		t		t						
	輸入原料炭		t		t						
	コークス用原料炭		t		t						
	吹込用原料炭		t		t						
	一般炭		t		t						
輸入一般炭		t		t							
国産一般炭		t		t							
輸入無煙炭		t		t							
石炭コークス		t		t							
コールタール		t		t							
コークス炉ガス		千m ³		千m ³							
高炉ガス		千m ³		千m ³							
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³							
転炉ガス		千m ³		千m ³							
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³						
	()										
()											
非化石燃料	黒液		t		t						
	木材		t		t						
	木質廃材		t		t						
	バイオエタノール		kL		kL						
	バイオディーゼル		kL		kL						
	バイオガス		千m ³		千m ³						
	その他バイオマス		t		t						
	RDF		t		GJ/t						
	RPF		t		GJ/t						
	廃タイヤ		t		GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
	廃油		kL		GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³						
	混合廃材		t		t						
	水素		t		t						
アンモニア		t		t							
その他燃料()											
小計①						5,040	346	340	6		
熱	産業用蒸気		GJ		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
	温水		GJ		GJ						
	冷水		GJ		GJ						
	地熱		GJ		GJ						
	温泉熱		GJ		GJ						
	太陽熱		GJ		GJ						
	雪氷熱		GJ		GJ						
小計②											
電気	電気事業者①	391.83	千kWh	3,385	千kWh		3,385	158	184	-26	
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh		千kWh					
		水力		千kWh		千kWh					
		風力		千kWh		千kWh					
その他		千kWh		千kWh							
小計③						3,385	158	184	-26		
合計 ④=①+②+③						8,426	503	524	-21		

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1) のエネルギー合計使用量 × 0.0258)

原油換算エネルギー使用量	217	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	503	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		503	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【奥州金ヶ崎消防本部】

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(6) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
	数値 A	単位 B	熱量(GJ) B	数値 C	単位 D	熱量(GJ) D					
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
揮発油(ガソリン)		kL			kL						
ナフサ		kL			kL						
ジェット燃料		kL			kL						
灯油	6.21	kL	227		kL		227	16	12	4	
軽油		kL			kL						
A重油		kL			kL						
B・C重油		kL			kL						
石油アスファルト		t			t						
石油コークス		t			t						
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	5.20	t	261	t		261	16	18	-2	
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³						
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t						
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³						
石炭	輸入原料炭		t		t						
	コークス用原料炭		t		t						
	吹込用原料炭		t		t						
	一般炭		t		t						
	国産一般炭		t		t						
	輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t		t							
コールタール		t		t							
コークス炉ガス		千m ³		千m ³							
高炉ガス		千m ³		千m ³							
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³							
転炉ガス		千m ³		千m ³							
その他の燃料	都市ガス	2.15	千m ³	97	千m ³		97	4	4	0	
	()										
非化石燃料	黒液		t		t						
	木材		t		t						
	木質廃材		t		t						
	バイオエタノール		kL		kL						
	バイオディーゼル		kL		kL						
	バイオガス		千m ³		千m ³						
	その他バイオマス		t		t						
	RDF		t		GJ/t						
	RPF		t		GJ/t						
	廃タイヤ		t		GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
	廃油		kL		GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³						
	混合廃材		t		t						
	水素		t		t						
	アンモニア		t		t						
その他燃料()											
小計①						584	36	34	2		
熱	産業用蒸気		GJ		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
	温水		GJ		GJ						
	冷水		GJ		GJ						
	地熱		GJ		GJ						
	温泉熱		GJ		GJ						
	太陽熱		GJ		GJ						
	雪氷熱		GJ		GJ						
小計②											
電気	電気事業者①	691.92	千kWh	5,978	千kWh		5,978	278	315	-37	
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh		千kWh					
		水力		千kWh		千kWh					
		風力		千kWh		千kWh					
その他		千kWh		千kWh							
小計③						5,978	278	315	-37		
合計 ④=①+②+③						6,562	314	349	-35		

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	169	kL
--------------	-----	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	314	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		314	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区最終処分場】

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(6) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油	3.33	kL	126		kL		126	9	11	-2
△重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t		t					
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
石炭	輸入原料炭		t		t					
	原料炭		コークス用原料炭		t					
			吹込用原料炭		t					
	一般炭		輸入一般炭		t					
			国産一般炭		t					
		輸入無煙炭		t						
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³					
	()									
	()									
非化石燃料	黒液		t		t					
	木材		t		t					
	木質廃材		t		t					
	バイオエタノール		kL		kL					
	バイオディーゼル		kL		kL					
	バイオガス		千m ³		千m ³					
	その他バイオマス		t		t					
	RDF		t		GJ/t					
	RPF		t		GJ/t					
	廃タイヤ		t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t					
	廃油		kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³					
	混合廃材		t		t					
水素		t		t						
アンモニア		t		t						
その他燃料()										
小計①						126	9	11	-2	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ					
	温水		GJ		GJ					
	冷水		GJ		GJ					
	地熱		GJ		GJ					
	温泉熱		GJ		GJ					
	太陽熱		GJ		GJ					
	雪氷熱		GJ		GJ					
	小計②									
電気事業者①	514.86	千kWh	4,448		千kWh		4,448	207	231	-24
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電	太陽光		千kWh		千kWh					
	水力		千kWh		千kWh					
	風力		千kWh		千kWh					
	その他		千kWh		千kWh					
小計③						4,448	207	231	-24	
合計 ④=①+②+③						4,575	216	242	-26	

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1) のエネルギー合計使用量 × 0.0258)

原油換算エネルギー使用量	118	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	216	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		216	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【たんこう浄水場】

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油	0.58	kL	22		kL		22	2	2	0
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t		t					
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
石炭	輸入原料炭		t		t					
	原料炭		コークス用原料炭		t					
			吹込用原料炭		t					
	一般炭		輸入一般炭		t					
			国産一般炭		t					
		輸入無煙炭		t						
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³					
	() ()									
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m ³			千m ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①							22	2	2	0
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	475.74	千kWh	4,110		千kWh		4,110	191	225	-34
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電	太陽光		千kWh		千kWh					
	水力		千kWh		千kWh					
	風力		千kWh		千kWh					
	その他		千kWh		千kWh					
小計③							4,110	191	225	-34
合計 ④=①+②+③							4,133	193	227	-34

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	107	kL
--------------	-----	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	193	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		193	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区広域交流センター】

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO2)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO2)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO2)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油		kL			kL					
A重油	28.50	kL	1,109		kL	1,109	78	34	44	
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0.10	t	5	t	5	0		0	
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
石炭	原料炭		t		t					
	輸入原料炭		t		t					
	コークス用原料炭		t		t					
	吹込用原料炭		t		t					
	一般炭		t		t					
輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t		t						
コールタール		t		t						
コークス炉ガス		千m ³		千m ³						
高炉ガス		千m ³		千m ³						
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³						
転炉ガス		千m ³		千m ³						
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³					
	() ()									
黒液		t		t						
木材		t		t						
木質廃材		t		t						
バイオエタノール		kL		kL						
バイオディーゼル		kL		kL						
バイオガス		千m ³		千m ³						
その他バイオマス		t		t						
RDF		t		GJ/t						
RPF		t		GJ/t						
廃タイヤ		t		GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
廃油		kL		GJ/kL						
廃棄物ガス		千m ³		千m ³						
混合廃材		t		t						
水素		t		t						
アンモニア		t		t						
その他燃料()										
小計①						1,114	79	34	45	
産業用蒸気		GJ		GJ						
産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
温水		GJ		GJ						
冷水		GJ		GJ						
地熱		GJ		GJ						
温泉熱		GJ		GJ						
太陽熱		GJ		GJ						
雪氷熱		GJ		GJ						
小計②										
電気事業者①	198.98	千kWh	1,719	千kWh		1,719	80	123	-43	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh						
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh						
自家発電	太陽光		千kWh	千kWh						
	水力		千kWh	千kWh						
	風力		千kWh	千kWh						
	その他		千kWh	千kWh						
小計③						1,719	80	123	-43	
合計 ④=①+②+③						2,833	159	157	2	

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1) のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	73	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	159	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		159	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2026年度(令和8年度)までに2023年度(令和5年度)比で3%削減する目標を掲げて取り組みを行っていたところ、2024年度は14.7%の増となった。今後は今まで以上に対策を推進したい。

【具体的な取組状況】

1 電気

ごみ焼却による発電ができない「休炉」の際は、使用していない部屋の空調、照明を消すなど、電力使用量の削減に努めることができた。また、「休炉」の期間をできるだけ短くするよう日々の運転計画を見直すことで、買電量を低く抑えるよう取り組んだ。

2 その他の具体的な取り組み

暖房運転は20℃、冷房運転は28℃を目安として設定し、職員が共通認識を持って取り組むことができた。場内街灯の点灯時間を季節によって変更し、無駄なエネルギー消費をしないよう取り組むことができた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

コピーや印刷の際、両面印刷や裏紙使用を積極的に進め、紙の使用量削減に取り組んだ。
地元住民との環境美化運動(道路清掃、花壇の花植え等)の参加人数が増加している。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (6年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	31 ()	48,193 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	110,368 kg-CO ₂	-3.06%
軽油	32 ()	20,345 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	53,294 kg-CO ₂	9.33%
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	63 (0)			163,661 kg-CO ₂	0.66%

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

燃料使用量を、令和5年度比でガソリン、軽油共に1%削減する目標を掲げていたが、令和6年度においてガソリンは減量できたものの軽油では9.3%の増となってしまった。

【具体的な取組状況】

- ・駐停車中のアイドリングストップの実施を全職員が意識して取り組むことができた。
- ・急発進、急加速等、「急」のつく運転を控えるエコドライブの意識が職員に浸透した。
- ・近距離の移動では、車を使わず徒歩で移動することで公用車の使用を控えることができた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

公用車使用時は、作業に使用した工具や機械類を積載したままにすることなく、不要なものは降ろして運転時の燃料使用量の抑制に努めた。